



おくりもの

保護者の皆さまへ

日頃より、保健人権部会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

おくりものという名前には「子どもは天からのおくりもの」、そして「性教育は、大人から子どもたちへの大切なおくりもの」という想いを込めています。

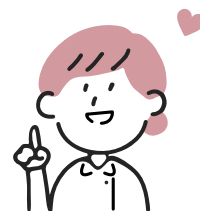
子どもたちが自分自身を大切に、健やかに成長できるよう、学校・家庭・地域がつながりながら、共に考えていくことが大切だと感じています。この「おくりもの」が、その小さなきっかけの一つとなれば幸いです。

五常小学校では、毎年2月頃に「性教育週間」を設けています。
この期間中、保健の先生（養護教諭）が各学年で性教育の授業を行います。
今年も保健人権部会のメンバーが性教育の授業を見学させていただきました。

本冊子では、学年ごとに先生がお話しされた内容をまとめています。

ぜひご家庭でお子さまと

「学校でどんなことを習ったのかな?」「こんなことを学んだんだね!」
と話すきっかけにいただければ幸いです。



1

年生

赤ちゃん抱っこ体験 —みんなが誕生するまでの様子—

最初は小さな命だった赤ちゃんが、お母さんのお腹の中で少しずつ成長していく過程を学びました。
また、生まれたばかりの赤ちゃんの重さや柔らかさ、首がまだしっかりしていない状態を実感できるよう、3kgほどの赤ちゃん人形をみんなで抱っこしました。
始まる前からワクワクした様子で先生の質問に元気よく答えたり、考えたりする姿が印象的でした。

赤ちゃんはどこからくるのでしょうか？

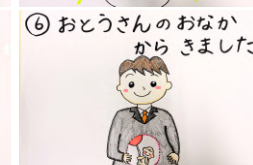
みんなは今、生きています。生きていくということは、ひとりにひとつずつ、大事ないのちがあるんです。
では、赤ちゃんのいのちって、どんなふうにしてできるのかな？

[授業で使用した紙芝居]

子どもたちにクイズ形式で質問しました。

- | | |
|----------------|------------|
| ① コウノトリが運んでくる | 「そんなわけない～」 |
| ② キャベツの中からでてくる | 「わはははは～!」 |
| ③ たまごからうまれてくる | 「それは恐竜～」 |
| ④ 川から流れてくる | 「それは違うわ～」 |
| ⑤ お母さんのおなかから | 「はいっ (挙手)」 |
| ⑥ お父さんのおなかから | 「違う～!」 |

そうです、みんなはお母さんからうまれてきたんです。



赤ちゃんはどうやってできるの？

女の人のお腹の中には、赤ちゃんを育てる部屋があるんです。男の人の中にも「赤ちゃんを産みたい」という人もいないかもしれないけれど、残念ながら男の人にはそのお部屋がないんです。
いのちはお母さんが育ててくれて、あるものとあるものがごっつんこしたらできるんだけど、わかるかな？

🗣️「知ってる～! 精子と卵子」

お父さんのいのちのもとの「精子」、お母さんのいのちのもとの「卵子」

これがごっつんこしたら、赤ちゃんのもとの「受精卵」というものになります。

その赤ちゃんのもとの「子宮」という場所になります。

これが女の人のからだの中にあるんです。

[卵子と精子の模型]



まほうのカードを見よう！

あるひみつが隠れている黒いカードを、1人1枚配ってもらい、みんなでそのひみつを探してみました。

🗣️「こうやったら (扇いだら) 涼しい!」「光に当てても何も見えない」

「真ん中に何かある～!」「見えな～い」

実はこの穴は受精卵の大きさなんです。みんなは今、こんなに大きくなっているけれど、最初はこんな「点」だったんです。



西田先生手作り!
一つ一つ針で刺して
作ったそうです。

[卵子の大きさがわかる! まほうのカード]

おなかの中の様子

子宮は筋肉できてから、風船みたいに伸びるんです。
赤ちゃんの大きさに合わせて伸びてくれるんです。

胎盤…栄養のタンクと言われています。
お母さんの栄養がたまっているんです。
へその緒…胎盤にたまった栄養を赤ちゃんに
届けるもの

羊水…温かいお湯みたいなもの。
赤ちゃんがぷかぷか浮いていて、
衝撃から守ってくれる。

[子宮の模型/模型をお腹に入れた様子]



子宮でどのくらい育つだろう！

あんなに小さな受精卵が、赤ちゃんが育つ子宮
で何日くらい育てられるか知っているかな？
約280日だけど、ぴったりみんなが280日では
ないよ。自分の時がどうだったか聞いてみるの
もいいね。

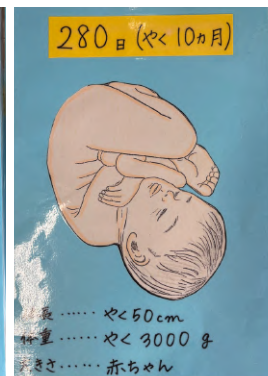
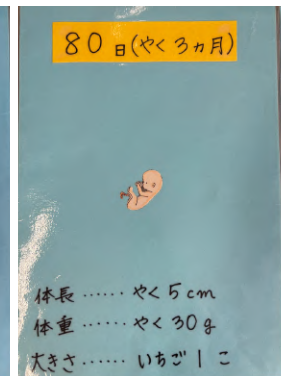
赤ちゃんを育てる子宮は、女の人のかからだの中
の、だいたいおへその下あたりにあります。
この子宮は女の子が生まれた時からすでにおな
かの中にあるんだよ。

この子宮は冷やしたらだめなの。
だからからだの中にあるんだよ。

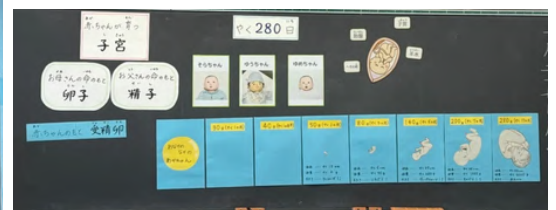


おなかの中の赤ちゃん

ごっつんこしてできた受精卵は、どんなふうになっていくのかな？
イラストを見ながら、みんなで成長を確認しました。



[おなかの中の赤ちゃんの成長がわかる教材]



[黒板に貼った様子]

赤ちゃんが日に日に大きくなっていく様
子を見て子どもたちは大興奮！

赤ちゃんを抱っこしてみよう！

そらちゃん、ゆうちゃん、ゆめちゃんの3人の赤ちゃんに来て
もらって、実際に抱っこしてみました。

赤ちゃんの目を見て…

赤ちゃんに話しかけながら…

実際の赤ちゃんと同じくらいの重さを体験しました。

【抱っこのポイント】

- ・首がぐらぐらしているからしっかり支えること
- ・立って向かい合わせて正面でわたすこと
- ・落とさないようにそっとだっこして名前をよんであげてね

～抱っこしてみたの感想～

☺「重たくて元気そうだった」

「重たくてかわかった」

「こわかった」

「じっと見てくれてうれしかった」



[みんなで抱っこした赤ちゃん人形]



先生のおはなし

西田先生や担任の先生のお子さんのお話を聞きました。
赤ちゃんがお腹の中にいた10ヶ月は、重かったし、
つわりもあって大変だったけれど、元気に育ってるん
だな～って思って、すごく幸せでした。

でも、夜は2～3時間で起きちゃうから大変でした。
夜中でも、泣いたらよしよし～ってあやして、そしてパ
パは仕事に行っていました。

赤ちゃんは、お腹が減ったり、寝心地が悪かったり、
寒かったり等、いつもと違うと寝られないんです。

大変なことも多いけれど、赤ちゃんの顔を見た時に、
ニコッと笑ってくれたら、とっても嬉しかったんだよ。

みんなのおうちの人もそうやって気にかけてくれて、
ここまで大きく育ててもらったんだよ。

おなかの中にいる時も大事にもらっていたけれど、
うまれてからも大事に大事に育ててもらっています。

だから自分のいのちも大事。

そして友達のいのちも大事。

2年生になっても、みんなと一緒にいのちのお勉強の続
きをしたいと思います。楽しみにしててくださいね。

2 年生

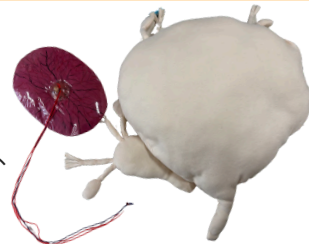
へその緒のひみつ

はじめに1年生のときに学んだ、赤ちゃんが小さな命から始まり、お母さんのお腹の中で少しずつ成長して大きくなっていく過程を振り返りました。そして、子宮の中にいたときの様子やへその緒の働きについても学びました。1年生のときの学習を覚えている子どもも多く、「知ってる!」「覚えてる!」と嬉しそうな声が上がりました。先生の話に夢中になる姿はとても可愛らしく、興味を持って学んでいる様子が伝わってきました。

※2年生は前半で1年生の内容の振り返りを行っているため、前半部分は1年生のノートをご参照ください

へその緒について

どうしておなかの中の赤ちゃんはこんな風に大きくなることができるのかな？
お母さんのおなかの中で栄養をもらっていたからだね。
胎盤から出ているへその緒という三本の血管がぐるぐるねじれてできているひもが
赤ちゃんのおへそに繋がって、栄養や酸素をくれているよ。
大きな太い一本の血管で栄養や酸素を渡してて、そしてあとの2本の血管で、いらぬものや、
二酸化炭素（酸素をもらった後に出てくるいらぬ空気）をお母さんに返しています。
みんなおへそあるよね？このおへそがお母さんにつながっていた証拠。
今日お風呂に入るときに、「これがつながっていたあかしなんだ」って愛おしくおもってあげてね。



【胎盤と子宮の模型】

おへそのあな（絵本）

2年生の授業で、先生が『おへそのあな』（長谷川義史 作／BL出版）を読み聞かせしてくださいました。
この絵本は、赤ちゃんがお母さんのおなかの「おへそのあな」から見える世界を描いたお話です。家族みんなが赤ちゃんの誕生を楽しみにしている様子が、ユーモラスなイラストとあたたかい言葉で表現されています。
授業では、子どもたちも「ほんまに見えるのかな?」「赤ちゃんって不思議!」など、色々な感想を持ったようです。親子で楽しめる素敵な一冊なので、ぜひご家庭でも読んでみてください。



赤ちゃんのうまれるとおり道

男の子にはおしっこをあな、うんちをあなの2つあながあるよ。
女の子にはおしっこをあなとうんちをあなの間に赤ちゃんのとおりみち（いのちのみち）があるよ。
赤ちゃんは赤ちゃんの通る道から頭をドリルのようにして、いのちのみちから産まれてくるよ。
お母さんも赤ちゃんも命がけで産み、産まれてくるよ。
帝王切開といってお医者さんにお母さんのおなかを切ってもらって、いのちのまどから生まれる方法もあるよ。
どちらの産まれ方も奇跡。みんながこうして産まれてきたことがすばらしいのです。

おへそはつながっている

産まれた時、赤ちゃんは泣くことで酸素を取り入れるよ。
だから、お医者さんは泣いてからへその緒を切ります。
みんなのおへそはお母さんに繋がっていたよ。
お母さん、お父さんのおへそはだれにつながっていたんだろう?? お母さんやお父さんのお母さんにつながっていたね。
いのちはこうしてずっとずっとつながって、今みんなのいのちがある。どのいのちもみんな大切なんですよ。
みんなも大切にいのちを繋いでいってもらえたら嬉しいです。

3 年生

子宮の中にいるときの胎児の成長の様子 ー妊婦体験ー

1・2年生で学んだ、最初は小さな命だった赤ちゃんがお母さんのお腹の中でどんどん大きくなっていく様子や、へその緒の働きについて振り返りました。その後、妊婦ジャケットを着て妊婦体験をすることで、妊娠中のお母さんの大変さや苦勞を感じることができました。

先生の質問に元氣よく手をあげて答える姿が印象的で、子どもたちの疑問に答えながら授業が進んでいく様子がとても素敵でした。男の子も女の子も妊婦体験に楽しそうに取り組んでいました。

※3年生は前半で1、2年生の内容の振り返りをしているため、前半部分は1、2年生のノートをご参照ください

妊婦体験してみよう！

授業の中では、妊婦さんの体の変化を感じるために4つの体験を行いました。
授業が終わったあとも、クラスの多くの子どもたちが妊婦体験をしていました。

【授業中に体験したこと】

- ①靴下を脱いで履いてみよう
- ②小走りしてみよう
- ③階段を上り下りしてみよう
- ④座って立つを2回してみよう

【子どもたちの感想】

- ①めっちゃくちゃきつい。重かった、脱ぎづらかった
- ②走りづらかった。思ったより重かった。
- ③これ一生やってたら死ぬでー。
- ④もうへばへば

先生からは、「今は立ったままでやってみただけけど、物を取ったり、靴下を履いたりするときは、気合を入れてゆっくり動くんだよ。本当のお母さんたちは、体に気をつけながらゆっくり歩いているんだよ」というお話もありました。

6kg弱の重さを
体験しました！



【妊婦体験ジャケット】

📢 おっぱいってなあに？

みんなどうして女の人はおっぱいがでくるとおもう？
→ 🍼赤ちゃんの飲むやつをあげる為？
→ お母さんは胸の中で、母乳と言う赤ちゃんの栄養になるものを毎日作って、それを赤ちゃんに飲ませているよ。だんだんと胸の中で栄養を作っていく。
だから女の子は胸が大きくなるよ。
ちゃんと全部意味があるんだよ。
女の子のカラダがだんだんと丸みを帯びるのも、赤ちゃんをしっかり支えるために体が成長するんだよ。

📢 先生のお話

先生はお腹が大きくて重たいから、夜寝るときは上を向いて寝ることができなかったよ。だから横を向いて寝ていたよ。妊娠中はハイヒールをはけなかったり、お刺身やお酒を我慢したり、気をつけないといけないことがたくさんあります。
それでもお母さんが頑張ってこれたのはお腹の中にいる赤ちゃんがとても大切に、かわいいから。
10ヶ月赤ちゃんがお腹にいるのは大変なこと。
これからみんながお腹に赤ちゃんがいる人を見かけたら、席を譲ったり、荷物を持ってあげたりして、お母さんをやさしくサポートしてあげてくださいね。

📢 あなたもお友達もとても大切な存在

みんながお腹にいる時、こうやって10ヶ月も育ててもらっていたんだね。周りの人がお母さんを支えて、赤ちゃんが生まれてきます。日本は医療が進んでいるけど、それでもみんながみんな、生まれることは難しい。何も問題がないのに急に命がとまってしまう事もあるんだよ。
だからみんながこうして元気に生まれてきてくれたのはとってもすごいこと、奇跡だよ。
みんな元気に生まれてきてくれてありがとう。あなたもお友達もとても大切な存在。
そんな気持ちを込めて今日の授業を終わりたいと思います。



4年生

二次性徴のからだと心の変化

4年生は教室でスライドを見ながら、思春期の体や心の変化について学びました。
これまで学んできた命のはじまりや赤ちゃんの成長を振り返り、男の子・女の子の体の変化（第二次性徴）や、成長には個人差があることも学びました。また、心の変化についても知り、自分や友達を大切に育む気持ちを育みました。

※4年生は前半で1~3年生の内容の振り返りをしているため、前半部分は1~3年生のノートをご参照ください

📢 おとなになるということ

おなかの中で赤ちゃんが大きくなるように、人間は生まれてからも大きくなるよ。
みんなはこれから、どんなふうに大きくなるんだろう？

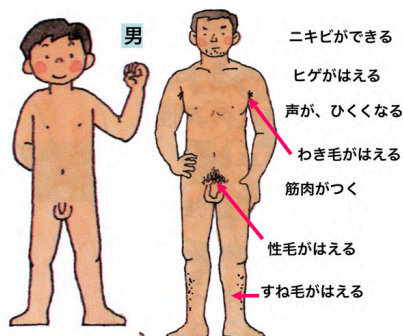
- ・男の子か女の子かは、性器を見るとわかるよ。
- ・女の子には赤ちゃんを育てる部屋があるんだよ。
- ・子宮は冷やしたらダメなところだから体の中に。精巣は熱に弱いから体の外にあります。
- ・男の子は筋肉がついてがっしりとした体になります。
- ・女の子はふっくらしてきます。将来赤ちゃんを産む時に赤ちゃんを支えるためにお尻の周りとかにお肉がついてきます。



【教室での授業の様子】

📢 どうしてこんな変化があるんだろう？

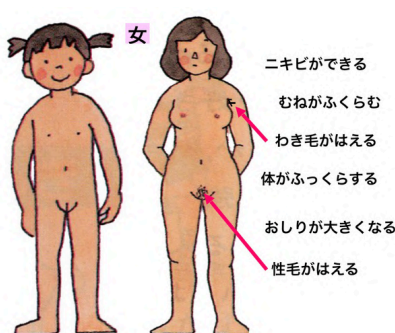
男の子のからだの変化



【授業スライド】

脳にある下垂体から『大人への準備をして』と精巣に命令があり男性ホルモンが作られます。それによっていろんな体の変化が起こります。だいたい11~14才（平均）頃起こります。精巣の仕事は大人のもとを作るだけではなくて命のもとを作ります。
その精子が精液となって陰茎の先から出ることを射精（初めての射精を精通）というよ。
17歳くらいになっても射精が来ていなかったら一度病院に行ってもいいかな。

女の子のからだの変化



男の子より
少し早いね

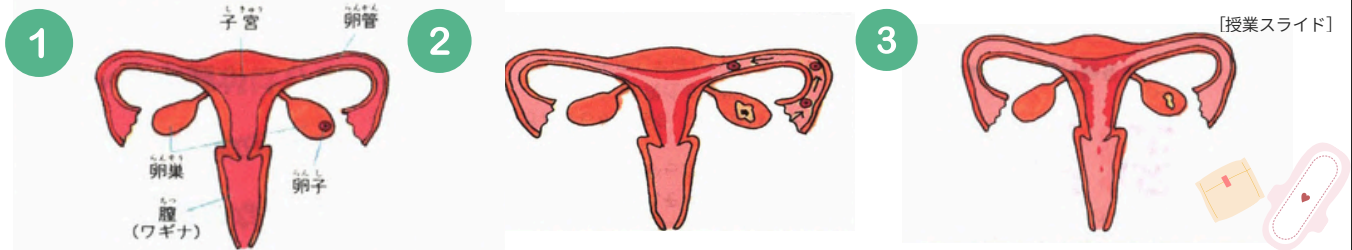
【授業スライド】

脳の下垂体から『大人への準備をして』と卵巣に命令があります。そうすると体を大人に変化させる女性ホルモンを作り、それによっていろんな体の変化が起こります。女性ホルモンは血液に混じって体を巡ります。だいたい10~13才（平均）頃起こります。
男女ともに個人差があるので、この平均に入らなくても心配しなくて大丈夫です。
卵巣も精巣と同じく、命のもとである卵子を作るよ。
このような変化は赤ちゃんを将来育てるための大事な役割です。



月経（生理）ってなあに？

- ① 卵巣から1つだけプ〜っと膨らんだ卵子が出て子宮へ向かう。（排卵）
（この間に卵子と精子が合体したとき、赤ちゃんのもと（受精卵）になり、子宮で育てます）
- ② 卵子が精子と合わさった受精卵を子宮で育てるために子宮に血のベッドを作る。
- ③ 受精卵にはならなかったときは、ベッドが壊されて、そのベッドの血液が膣から出ます。これを月経と言います。



※作られた卵子は、血液（赤色の液体）に混じって膣から出る。それが月経。初めての月経を初経と言います。

- ・女の子の体は、赤ちゃんの時から400個くらいの卵子を持って生まれています。
- ・ひとつのサイクルが1ヶ月と言われているよ。最初の1年くらいは規則正しく来ないこともあるので心配しなくても大丈夫！高校三年生になっても来ない時は病院に行ってもいいかな。

5

年生

命の誕生

4年生で学習したからだの成長について振り返った後、それぞれの性器のつくりについて学びました。そして、受精の瞬間や赤ちゃんがお母さんのおなかの中で育っていく様子をビデオで観ました。リアルなCGで再現された精子の大冒険や胎児の成長に子どもたちは（わたしたちも！）食い入るように観て感動していました。

※5年生は4年生の内容の振り返りもしているため、前半部分は4年生のノートをご参照ください



はじめに

西田先生より「恥ずかしくなる子もいるかもしれないけど、笑ってふざけたりしないで。これからみんなの体に訪れる変化です。なるほどね〜と聞いて欲しい。一生懸命伝えるからみんなも一生懸命聞いて。」と始まりました。男の子、女の子の身体の掲示物を使って、それぞれの体にどのような変化がいつ頃から現れてくるのかについて学習しました。（第二次性徴）



どっちが男の子？どっちが女の子？



[授業教材]

☺☺「足の筋肉がありそうだからこっちが男の子！」

☺☺「髪の毛が長いほうが女の子！」

☺☺「肩幅が広いほうが男の子」

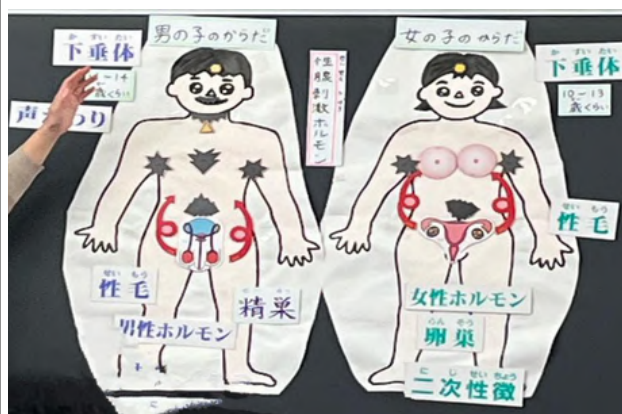
と、みんな意見をいっぱい発言してくれました。

性器が出てくると、一旦シーンとなり、全員が静かに男女の性器の特徴をしっかりと聞いていました。

自分たちの体の事、興味が出てきているのだなぁと感じました。



男の子のからだと女の子のからだ



男の子は・・・（11歳から14歳ごろ）

脳の下垂体より「大人の男性になる準備して」と、精巣へ命令が出て、男性ホルモンが作られ始める。それが血液によって全身をめぐることで、ひげが生えたり、声変わりがしたり、体ががっしりしてくる。

女の子は・・・（10歳から13歳ごろ）

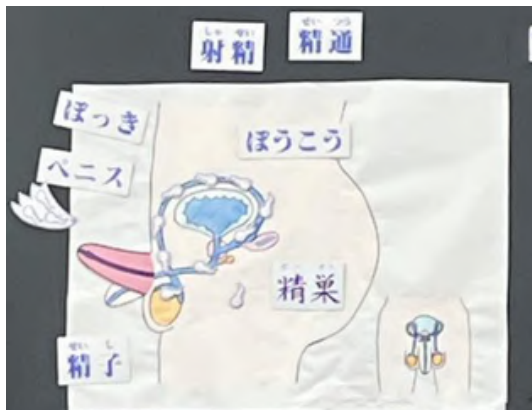
脳の下垂体より「大人の女性になる準備して」と、卵巣へ命令が出て、女性ホルモンが作られ始める。それが血液によって全身をめぐることで、胸がふくらんできたり、丸く柔らかい体つきになる。男女共に性毛やわき毛など、体の大事な部分を守るところに毛が生える。

女の子のほうが変化が始まる年齢が早い傾向にあるけど、個人差があるので、多くの人の変化が始まる時期に自分が当てはまらなくても心配しなくて大丈夫！と西田先生は説明してくれました。

すでに一度4年生の時に教えてもらっている内容だったので、子どもたちも落ち着いて話を聞いていました。



男性器のつくり



[授業教材]

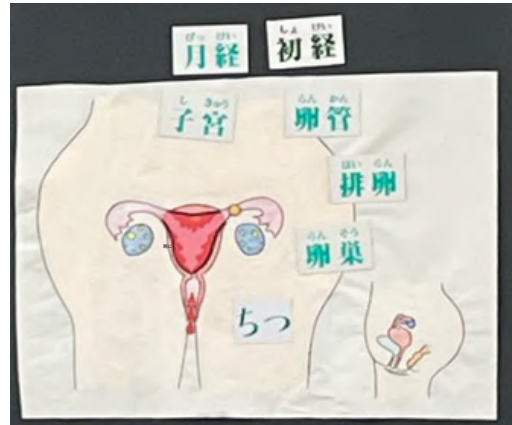
【男性器】

- ・オレンジの部分か精巣。
- ・精巣の中の精子は熱に弱いので体の外に睾丸がある。
- ・おちんちんと呼んでいる部分はペニスまたは陰茎（いんけい）と言う。
- ・脳から命令を受けるとものすごい数（億）の精子を作って精管を通り、精液という精子が進みやすくなる液と共に進みます。
- ・陰茎が硬くなることを勃起と言い、精液が出ることを射精と言います。
- ・初めての射精を精通と言う。
- ・おしっこと精液が出る道は同じだが、射精として精液がでる時はおしっこの道が止まり、混ざらないようになっている。

寝ている時に起きて、パンツが濡れていることに気が付くことがあるかも。（卵みたいにヌルっとしている）でもこれは病気じゃないよ。夢精といいます。パンツは自分で洗うのがマナーだよ。



女性器のつくり



【女性器】

- ・子宮や卵巣、卵子などは冷やしてはいけなため、体の中にある。
- ・卵子の道の説明（卵管）
卵子は卵巣から出ると卵管を通る。（卵管の中には毛が生えていて、大玉転がしのように卵子を転がしてくれる）そして、血でできたベッドへ。卵管の中で精子と合わさると受精卵となって血のベッドで大切に守られる。
- ・精子と出会わなかった卵子は血のベッドと共に体外へ”ちつ”から排出される。（体の中に吸収されることもあります）
- ・血のベッドは新鮮でないといけなため毎月こわされ、からだの外に出る。そして、新しいものと変わる。

これが月経又は生理と言われる現象、と詳しく説明してもらい、子どもたちも真剣に聞いていました。女の子自身だけでなく、男の子たちも女の子の体の事を茶化すことなくしっかり聞いていて、たのしかったです。



命の誕生についてのビデオを観る

フランスのある夫婦の精子と卵子が受精し、赤ちゃんが生まれるまでのビデオを観ました。受精の瞬間や、おなかの中の赤ちゃんの様子をCGを使って紹介しているので、わかりやすかったです。

- ・子宮内を精子が卵子まで泳いでいく状況をCGでリアルに再現。
絵でしか見たことのない子どもたちにとってリアルに可視化することで、より身近に感じられたと思います。
（精子が卵子まで泳ぐ距離は、人間のサイズ感で表すと、地球から月までの距離。）
- ・受精卵が胎児になり、手足や目ができる。
- ・胎児の手ははじめは水かきがついている。
- ・母親が運動した時の胎児の反応や母親が食べた物が羊水に関係していること、また味覚をもった胎児が羊水を飲む様子も映像で観る。

子どもたちははじめ、精子が冒険をしていくようなCGを静かに見ていましたが、父の核が母の核と一緒に受精卵になる瞬間には顔を上げて。おなかの中の胎児のリアルなCGには「こわい〜」と悲鳴を上げながら、自分の手の大きさと比べたり、成長を「お〜」と声を上げて自身と重ねて視聴していました。誕生のシーンは「わ〜！！すごい！！」とみんな興奮気味でした。



[ビデオイメージ]



子どもたちに伝えたいこと

自分が好きになる相手に対して、みんなは身体にも興味を持ち始める時期。エッチなことを考える自分ってあかんのかな？おかしい？とか思わなくてもいい。ただ、みんなの前で言うことではない。教室の中で大きな声で言うことで、周りで聞いている人がしんごい気持ちになる事もあることを知っておいてほしい。

そして、みんなは性に関する情報がまわりにたくさんある。でも、間違った情報もいっぱいあるんだよ。

精子の寿命は約3日、卵子の寿命は約24時間。そして、射精が始まっている男の子、月経が始まっている女の子。条件がそろった中で性行為をすると、今のみんなでも赤ちゃんができる可能性があるということも知っておいてほしい。赤ちゃんが来てくれることは素敵な事だけど、お金もかかるし、自分の時間もなくなっちゃうよね。みんながしあわせなタイミングで出会いたいね。

6

年生

LGBTQについて

人権というテーマを主軸にして、LGBTQの意味、性別の中身には4つあること、また枚方市のパートナーシップ宣言について学びました。

「ゆうきさんからのメッセージ」という当事者からのメッセージを観て、自分の人権も他の人の人権も守られるべきだということを考えさせられました。

人権とは・・・LGBTQ+とは？

人権とは、人間が人間らしく生きる権利

生まれながらにすべての人が持っている権利

LGBTQ+とは？（少数派の人たち）

L レズビアン

同性を好きになる女性

G ゲイ

同性を好きになる男性

B バイセクシャル

異性も同性も好きになる人

T トランスジェンダー

出生時に決められた性別と違う性別を生きる人、生きたい人

Q クエスチョニング

自分の性や、好きになる性が定まっていない人

身近な例で知るLGBTQ+

自身がセクシャルマイノリティだとカミングアウトしている芸能人を例に挙げて、（カズレーザーさんや、マツコデラックスさん等）LGBTQ+についてわかりやすく説明してくれました。

ジョークから見る国民性の違い

また、国民性の違いについて、エスニックジョークを例にわかりやすく説明してくれました。

「沈没船ジョーク（タイタニックジョーク）」では、沈没しかけた船に乗り合わせる様々な国の人たちに、海に飛び込むよう船長が説得を試みます。

「飛び込めばあなたは”英雄”です。」

「飛び込めばあなたは”紳士”です。」

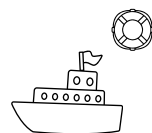
「飛び込むのが”この船のルール”です。」

「飛び込むと女性にもてますよ」

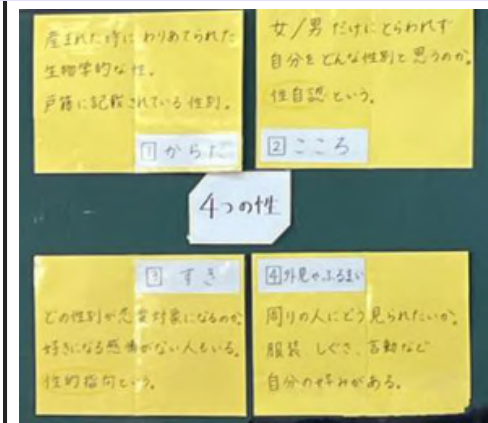
「飛び込まないでください。」

さて、日本人に効果的な掛け声はなんでしょう？

それは「皆さん飛び込んでいます。」です。日本人は周りと同じだと安心するということをジョークで表しています。全員がそうという訳ではなく、あくまでもイメージです。



SOGI（ソジ・ソギ）とは・・・



[授業教材]

心と体の性が違ったり、好きな人が同性だったり異性だったり・・・好きになる感情が沸かない人もいます。

こうした人は11人に1人はいると言われていたけれど、身近にはあまり聞かないかもしれません。

それは「もしかしたら変だと言われるかも」と、周りの反応が怖くて言い出せないことが多いからです。でも実際には、病院の性別欄や更衣室、トイレなど、日常のさまざまな場面でしんどさを感じる人もいます。

最近ではSOGIという考え方があり、人には4つの性の要素があり、そのあり方はひとりひとり同じではなくグラデーションのように違っているとされています。

みんな違っていい。違いを認めあうことが大切です。

トイレやお風呂、着替えなどの場面ではだれでも使える「オールジェンダートイレ」が設置されている場所もあります。



パートナーシップ

同性同士の結婚は現在日本ではできませんが、パートナーシップという制度を使用することができ、「私の大事な人」と堂々と表明することができます。

自治体によって違いがありますが、枚方にもあります。（国によっては同性婚できる国もあります）

結婚と近い関係と認められ、一緒に部屋を借りられたり、病院などの「身内の方だけ」といった状況で対象となります。

[パートナーシップ資料]



レインボーフラッグ



LGBTQの人たちの象徴として、権利や尊厳、多様性を表しているのが「レインボーフラッグ」です。各色にはそれぞれ意味があります。

生命 癒し 太陽 自然 平穏 精神

どんなおにぎりが好き？

事前にみんなに「どんなおにぎりが好き？」とアンケートをお願いしていました。のりがパリパリのおにぎりが好きな人、しっとり好きな人。焼きおにぎりが好きな人など、いろいろな答えがありました。

バラエティ豊かなみんなの好きなおにぎりを見て、「それもいいね」「へえ、そうなんだ～」と思ったと思います。その感覚でLGBTQの人たちとも話せばいいと思います。かまなくていい。どう生きてもだれを好きになってもいいんだよ。

打ち明けてくれることは「カミングアウト」。それを勝手に他の人に言うのは「アウティング」。これは傷つけてしまうこと！絶対やってはダメだよ。また、同じ言葉でも、そこに差別のおもいがのると差別的な言葉になってしまうことがあります。相手を思いやりながら言葉を使うことが大切です。



マイノリティ当事者本人の気持ちをビデオレターで観る

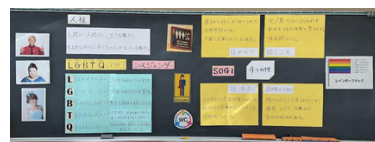
ゆうきさんというマイノリティの方の、当事者の気持ちを語ったビデオレターを観て、さらに理解を深めました。ゆうきさんは、女の子として生まれましたが、ランドセルは黒がよく、制服もズボンがよいと感じていました。しかし学校では男女で制服や水着が分かれており、「なんか違う」というモヤモヤをずっと感じていたそうです。また、周りが「ホモ」や「レズ」と言って笑ったり、「キモい」と言ったりするため、自分が違うことに気づかれないように、周りに同調してしまうこともあったそうです。

「面白おかしく言わないで。傷つくよ。」という言葉が印象に残りました。ゆうきさんは20歳のときに胸の手術を受け、注射をしてホルモン治療を始めました。それは「男になりたいから」ではなく、「自分らしく生きたいから」だと話していました。そして、「もし友達や周りに同じような人がいたら、いじめないで仲良くしてほしい。世の中にはいろいろなカップルがいる。テレビなどで笑いのネタにされることもあるけれど、おかしいことではない。笑われるのは悲しい。色んな人がいるから面白い。誰を好きになってもいい。同性が好きだからといって、同性みんなを好きになるわけではなく、ちゃんと好みがあるんだよ。」とメッセージを送っていました。



西田先生からのメッセージ

「緑を描いて！」と言った時にみんなが描く緑の色はそれぞれ違います。性のあり方も同じように、人それぞれグラデーションのように違ってきます。全ての人が自分らしく、好きな物を安心して好きと言える社会に。自分と違うことは「変なこと」ではありません。性的マイノリティだからと、特に気構えて付き合う必要はありません。いろんな人がいるから、この社会は素晴らしいのです。



[当日使用した授業教材]



五常小学校の想い



校長先生より

今号の「おくりもの」いかがでしたか？

今の社会には、性に関して正しくない情報があふれています。インターネットなどを通して、子どもたちがそうした情報に簡単に触れてしまう時代だからこそ、学校で正しいことを丁寧に伝えていくことが大切だと考えています。

性教育は、体のことだけでなく、自分を大切に、相手を思いやる心を育てる学びです。

今後もご家庭と連携しながら、子どもたちが安心して学び、自分らしく健やかに成長できる教育を進めていきたいと思います。

養護教諭 西田先生より

3月のほけんだよりにも載せておりますが、毎年この授業を終えて子どもたちに書いてもらう感想には、心を動かされます。自分の体にまっすぐな興味を示してくれる子、恥ずかしさが顔に表れながらも聞いてくれる子、今はまだピンと来ない子。それでいいと思います。

今回5年生の男の子が、「ちょうど性のことで悩んでいたの、今日この話を聞いてよかった。」と書いてくれたのは、私にとっても大きな自信につながりました。

今を生きる子どもたちに全力で命のお話を伝えることは、私の使命だと感じています。

その上で、こうして保護者のみなさんに全学年の内容を届けられているのは、ただただ子どもたちの健やかな成長のためにとご尽力くださる保健人権部会の方々のおかげです。本当にありがとうございます。

これからも、自分の言葉で誠実に伝えていきたいと思っています。



保健人権部会の想い



いのちを大切にする学び

西田先生の授業では、学年に合わせた教材を使いながら、子ども達にわかりやすく伝えるよう言葉を丁寧に選び、「子どもの目線」に寄り添った素晴らしい授業が行われていました。授業は各学年、前年の内容の振り返りから始まりましたが、学んだ内容を覚えている子どもたちも多く、毎年こうして学びを重ねていくことの大切さを感じました。

今年は全学年、教室でクラスごとに授業が行われました。低学年では挙手も多く、にぎやかで楽しそうな雰囲気の中で授業が進み、少し難しそうな質問にも自分なりに答えようとする姿が印象的でした。高学年では少し恥ずかしそうにしながらも、先生の話真剣に耳を傾けていました。いつもの教室で行われることで、子どもたちも安心して学べる時間になっているように感じました。心も体も大きく変化していくこの時期に、

このような授業を受けられることは、子どもたちにとってとても大切な学びの機会だと思います。思春期は性のことが気になり、関心が高まる時期でもあります。だからこそ子どもたちはSNSなどから情報を得ようとすると思いますが、そのすべてが正しいとは限らず、知らないうちに間違った知識につながってしまうこともあります。学校で正しい知識を学び、家庭でも子どもたちを見守りながら支えていく。そんな温かい環境の中で、子どもたちが安心して成長していけたらいいと思います。学校で学んだことをきっかけに、ご家庭でもぜひお話をしてみてください。生まれたときのことを伝えたり、子どもたちの疑問や不安に寄り添ったりする時間が、きっと親子の大切な対話につながると 생각합니다。この「おくりもの」が、ご家庭での対話のきっかけのひとつになれば嬉しいです。

ご意見・ご感想をお寄せください

「おくりもの VOL.7」をお読みいただいた感想や、性教育に関するご意見、ご家庭でのお悩み、今後「おくりもの」で取り上げてほしいテーマなどがありましたら、右記QRコードよりぜひお聞かせください。皆さまの声を今後の参考にさせていただきます。

※個別の返信はできかねますので、ご了承ください。

※いただいたご意見は、『おくりもの』誌上でご紹介させていただくことがあります。



Scan Me!